

OBRIGADA PORTUGAL

Oita Japan Portugal Association

「オブリガダ」とは、ポルトガル語で「ありがとう」(女性が言う場合)の意味です



ルイス ド アルメイダ像
医師会立アルメイダ病院 設置

今回は

- ◎設立40周年記念について・・・P1
- ◎新会長就任について・・・P2
- ◎協会・会員の活動について・・・P3
 - マリオネットが作曲を開始
 - ポルトガルのホストタウンに
 - コンペイトウ王国が大分市のイベントに参加
 - アベイロ市サッカー訪問団が大分市へ
- ◎協会40年のあゆみ・・・P4
- ◎WORLD TOPICS～ポルトガル情報～・・・P4

をお届けします。

40 ANNIVERSARY

設立40周年記念について

昭和52年10月に大分日本ポルトガル協会が設立され、平成29年で設立40周年を迎えます。6月2日(金)に開催予定の総会&ポルトガルワインのタベでは、40周年を記念し、「マリオネット」のライブを企画しています。詳細については総会&ポルトガルワインのタベの案内通知のなかでお知らせします。

お楽しみに！！

2017年
3月28日発行



大分日本ポルトガル協会

- 事務局
大分市企画部文化国際課 国際化推進室
- 住所
〒870-8504 大分市荷揚町2番31号
- TEL / FAX
097-537-5719 / 097-536-4044
- Eメール
kokusai@city.oita.oita.jp

ホームページもご覧ください



<http://oita-kokusai.jp/portugal-toppage.html>

協会40年のあゆみ

- 1977年 大分日本ポルトガル協会発足
- 1978年 大分市とポルトガル・アベイロ市が姉妹都市を提携
- 1991年 吉川暉大分医師会会長がポルトガル名誉領事に就任
- 1993年 日本・ポルトガル友好450周年記念
大分市民合唱団ウイステリアコール、鶴崎おどり保存会がポルトガルへ
- 2003年 ポルトガルの食文化に触れるタベ開催
- 2004年 ポルトガルワインのタベを初開催。以降、毎年、開催
- 2006年 シャムスカ監督と語ろうポルトガル講座(～2008年)
- 2007年 ポルトガル・コインブラ大学OB合唱団大分公演の支援
- 2008年 コインブラ吹奏楽団ジャパンツアー2008大分公演の支援
大分市・アベイロ市姉妹都市提携30周年記念事業
「ポルトガル・アベイロのタベ」を開催
- 2010年 大分市主催「姉妹友好都市中学生環境フォーラム」の支援
- 2013年 大分市・アベイロ市姉妹都市提携35周年記念事業の支援



WORLD TOPICS ～ポルトガル情報～



国連事務総長にグテーレス氏が就任

2017年1月1日、第9代国連事務総長に、元ポルトガル首相（1995～2002）のアントニオ・グテーレス氏が就任した。グテーレス氏は1949年リスボンに生まれ、リスボン工科大学工学部を卒業、ポルトガル首相ほか、2000年初めには欧州理事会議長として「リスボン・アジェンダ」の採択を主導するとともに、初の欧州連合（EU）アフリカ・サミットで共同議長を務めました。また、2005年からは国連難民高等弁務官（UNHCR）を勤め、数十年に一度の規模の避難民危機が数回にわたって生じる中で、世界最大の人道機関を率いました。ポルトガル語のほか、英語、フランス語、スペイン語にも堪能で、リスボン市文化担当助役を務める妻の間には子ども2人、継息子1人、3人の孫がいます。



ポルトガル代表がユーロ2016で優勝

2016年にフランスを舞台に開催されたサッカーの欧州選手権ユーロ2016において、クリスティアーノ・ロナウド率いるポルトガル代表チームが悲願の初優勝を飾った。FIFAランキング8位のポルトガルは今回が2度目の決勝進出。自国開催だった2004年大会では大本命と言われながらも決勝で伏兵ギリシャと対戦し痛恨の敗戦に終わっている。今回の決勝の相手は16年ぶり3度目の優勝を目指す開催国フランス。一進一退の展開が続くなか、前半17分にポルトガルのエース、ロナウドがピッチに倒れこみ再びピッチに戻るも25分に負傷交代。エースを欠いたポルトガルは劣勢になるも堅守で耐え、延長戦にもつれ込むなか、109分に交代で入ったエデルのシュートがゴールへ吸い込まれる。この1点を守り抜きポルトガルは初の欧州制覇を果たし、主要国際大会で初のタイトルを獲得した。

編集後記

今回の「オブリガーダ」は、いかかでしたでしょうか。これからもポルトガルを知り、親しんでいただける情報を発信していきたいと思っております。みなさまからの情報・お知らせなどがありましたら、ぜひ事務局までお寄せください。

協会・会員の活動について

マリオネットが作曲を開始

ポルトガルギターのパイオニア湯浅 隆と、マンドリン界をリードする吉田剛士のアコースティックユニット「マリオネット」。最近では、「大分むぎ焼酎二階堂」のCMにもシリーズで起用されるなど全国的にも多くのファンを獲得しています。

そのマリオネットがポルトガルと歴史的なつながりの深い大分のために作曲を開始。曲名は『南蛮BVNGO』。実はこの縁、彼らの大ファンである本協会の杉村会長が、大分日本ポルトガル協会、アルメイダ病院、さらには大分市民・県民のため『南蛮文化発祥都市おおいた』を感じられるような曲があればとの思いから依頼し実現したものです。

本協会のみなさまには一般リリースより一足早く、協会設立40周年の記念イベントにて披露する予定となっています。



湯浅 隆
ポルトガルギター



吉田 剛士
マンドリン

コンペイトウ王国が 大分市のイベントに参加



コンペイトウ作り体験

今年2月に大分市のガレリア竹町ドーム広場にて「宝のまち・豊後FUNAI芸術祭」が開催されました。これは歴史上いち早く新進気鋭の南蛮文化を取り入れたおおいたをコンセプトに開催されたもので、南蛮をイメージした衣装など、さまざまな衣装をした参加者が商店街を練り歩きました。本協会の会員であるコンペイトウ王国（大阪糖菓(株) 野村しおり様）もコンペイトウ作りワークショップを開催し大変な人気企画となりました。コンペイトウはポルトガルから伝わった南蛮菓子で、ポルトガル語のコンフェイト（=砂糖菓子）が語源だと言われています。大分とポルトガルの深いつながりを感じることができ一日となりました。コンペイトウ王国ありがとうございました！

ポルトガルの ホストタウンに



2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、全国の地方公共団体と、大会参加国・地域との相互交流を図り、地域活性化を促進する「ホストタウン構想」（内閣官房）の第2次登録申請において、大分県・大分市はポルトガルのホストタウンに登録されました。大分市は2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプ誘致に向けて積極的に交流を図っており、ポルトガルのほかにも、ロシア、イタリア、アメリカ、フィジー、ハンガリー、ルーマニアの登録も行っていきます。

アベイロ市サッカー



訪問団が大分市へ

2015年に大分市の中学生サッカー選抜チームが大分市の姉妹都市であるポルトガルのアベイロ市を訪問しました。地元クラブチームとの試合やホームステイを体験するなど、日本では味わえない貴重な経験をすることができました。その訪問の際、アベイロ市の市長より「次はぜひ大分市にアベイロ市の子どもたちを連れて行きたい」との言葉があり、2017年にそれが実現することになりました。

ポルトガルは世界のサッカー強豪国であり、日本のサッカー少年憧れのスーパースターであるリアル・マドリール所属のクリスティアーノ・ロナウドの母国でもあります。大分の子どもたちは高いサッカー技術を学ぶチャンスであるとともに、国際交流を行う良い機会となります。本協会でも来分時には歓迎会など企画する予定としていますので会員のみなさまよろしくお願ひします。



大分市サッカー訪問団がアベイロ市を訪問したときの様子

活動情報がありましたら事務局へお寄せください！！

新会長就任について



大分日本ポルトガル協会

会長 杉村 忠彦

一般社団法人大分市医師会 会長
医師会立アルメイダ病院 院長

ご挨拶

会員の皆様、こんにちは。

河野会長より引き継ぎ、新しく大分日本ポルトガル協会の会長に就任することになりました。一般社団法人大分市医師会会長及び大分市医師会立アルメイダ病院院長の杉村でございます。河野会長同様、日本とポルトガルの友好親善に尽力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

私は、今から10年程前、大分市の姉妹都市であるポルトガルアベイロ市に姉妹都市提携30周年を記念して訪問したことがあり、歴史あるまちなみや文化、優しい人柄などに大いに感銘を受けました。そうしたことから、今回の会長就任につきましても大変感慨深いものがございます。

ここで、大分とポルトガルの関係について少し述べさせていただきます。1557年にポルトガル人宣教師で医師でもあった「ルイス・デ・アルメイダ」が私財を投じ豊後府内（現在の大分市）に日本で初めて洋式病院を建て、そこに医学校や育児院を併設し「人間愛の精神」をもって多くの住民の治療にあたりました。以来、大分市医師会立アルメイダ病院といたしましてもこの偉業を受け継ぎ、「人間愛の精神」に基づいた高度な医療を提供することで地域貢献を目指しているところでございます。

さらに今年度、大分県と大分市は2020年開催の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、ポルトガルの「ホストタウン」※となりました。これは、大分とポルトガルの歴史的関係や近年の交流が評価され実現したものであり、本協会といたしましても、この取り組みを積極的に支援し、ポルトガルとさらなる友好関係を築いてまいりたいと考えております。

最後に、大分日本ポルトガル協会は今年で設立40周年を迎えます。これまで以上に日本全国の会員のみならずと交流を深めるとともに、長年にわたる交流で培われた友好の絆を、未来へと着実に継承していくことをお約束し、私の就任の挨拶とさせていただきます。

※「ホストタウン」とは・・・内閣官房が2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会に関し、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図るため登録を実施